

令和4年度（1学年用）

教科 芸術

科目 書道Ⅰ

教科：芸術

科目：書道Ⅰ

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 組～6組

教科担当者：大橋

使用教科書：（書Ⅰ（光村図書出版））

教科 芸術

の目標：

【知識・技能】日本と中国の文字と書の伝統と文化・書体の変遷を理解する。

【思考力・判断力・表現力】古典の価値について考え、書のみさを味わう。

【主体的に学習に取り組む態度】書の変遷や背景にある歴史や文化に関心をもち、表現においても意欲的に取り組む。

科目 書道Ⅰ

の目標：

【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【主体的に学習に取り組む態度】
①日本と中国の文字と書の伝統と文化・書体の変遷を理解する。 ②各書体特有の字形や線質について理解する。	①古典の価値について考え、書のみさを味わう。 ②味わった美しさ感性を豊かにし、作品の表現の違いを判断する。 ③鑑賞の学習に取り組み、表現できるように努力する。	書の変遷や背景にある歴史や文化に関心をもち、表現において意欲的に取り組む。

	単元	表現			鑑賞	指導項目・内容	知	思	主	配当 時数
		漢 仮	漢	仮						
1 学 期	書について ・楷書 「孔子廟堂碑」		○		○	・書写から書道へ。 ・用具・用材・書の表現。 ・漢字の書体の変遷。 ・書風・特徴を捉える。 ・さまざまな古筆を見て、楷書にも用筆、字形の違いがあることを知る。 ・拓本について理解する。 ・慮世南について知る。	○		○	2
	「九成宮醴泉銘」		○		○	・欧陽詢について知る。 ・「楷書の極則」とたたえられる背勢を理解する。 ・用筆、字形を理解する。	○	○		4
	「雁塔聖教序」		○		○	・褚遂良について知る。 ・抑揚を利かせた用筆を理解する。 ・初唐の三大家を知る。	○			2
	「顔氏家廟碑」		○		○	・顔真卿について知る。 ・重厚な運筆や向勢の字形を理解する。 ・「蚕頭燕尾」と呼ばれる用筆を理解する。 ・初唐の四大家を知る。	○	○		2
	「牛橛造像記」		○		○	・北魏の楷書について理解する。 ・力強い運筆や方形を知る。 ・「鄭義下碑」と比較する。 ・重厚な運筆や向勢の字形を理解する。 ・「蚕頭燕尾」と呼ばれる用筆を理解する。 ・初唐の四大家を知る。	○			2
	「鄭義下碑」		○		○	・ゆったりとした構えの字形を理解する。 ・点画に丸みを持たせた円勢を理解する。 ・筆力は強くあることを理解する。			○	4
	「隅寺心経」		○		○	・写経について知る。 ・空海について知る。 ・1行17字を収め写経体とし、整然とした美しさを追求する。	○			4
2 学 期	・行書 「蘭亭序」		○		○	・行書の特徴を理解する。 ・筆者について知る。 ・全体を鑑賞し、思いと筆使いを理解する。 ・感情が書に表れていることを知る。 ・大筆、小筆でも書き、どちらもよく特色が出るように表現する。	○	○		6
	「温泉銘」		○		○	・筆者太宗について知る。 ・文字の大小、線の太細、書風を理解する。	○		○	2
	「争座位文稿」		○		○	・三文稿の比較をする。 ・文字の大小、太細、抑揚の変化を理解する。	○		○	2
	「蜀素帖」		○		○	・筆者米芾について知る。 ・やや左に傾けた字形、強弱をつけた筆圧が書けるようにする。 ・宋の四大家を知る。	○			2
	「風信帖」		○		○	・空海は二王をベースに書かれていることを知る。 ・平安時代の書道史の概要を知る。		○	○	2
	真草千字文		○		○	・詩の情景を楽しむ。 ・正方形に近い字形で、滑らかな運筆に近づけるようにする。		○		2
	隸書 「曹全碑」		○		○	・隸書の基本点画、収筆、波磔、が書けるようになる。 ・伸びやかな波磔が理解できる。	○			2
篆書 「泰山刻石」		○		○	・均整のとれた威厳のある篆書を理解する。 ・篆書の用筆・運筆を知る。	○			2	

				<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮名 仮名の基本 いろは</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮名はどのように書かれてきたかを理解する。</li> <li>・古筆を鑑賞する。</li> <li>・仮名の基本線を理解する。</li> </ul>	○			2
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・変体仮名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変体仮名について理解する。</li> <li>・表現の変化や調和の効果をもたらす役割を知る。</li> </ul>		○		2
3 学 期			○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形連と意連について理解する。</li> <li>・組み合わせることによる流動美を理解する。</li> </ul>	○		2
			○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・端正な字形と流れの美しさを味わう。</li> <li>・一、二、三種を比較して作者が異なることを知る。</li> <li>・書式について知る。</li> <li>・墨つぎまで慣れる。</li> </ul>	○		4
			○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆圧の変化に富んだ躍動的な表現を理解する。</li> </ul>	○		2
			○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直線的な運筆の特徴が表せるようになる。</li> </ul>		○	2
			○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・散らし書きの表現方法、構成美を理解する。</li> <li>・単体と連綿の組み合わせによるリズムを理解する。</li> </ul>		○	2
			○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆったりとした連綿、行と行を絡めた構成が書けるようになる。</li> </ul>		○	2
			○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮名の創作をする。</li> <li>・歌を決め、文字を集字し構成する。</li> <li>・構成を生かし、下書きし練習し、仕上げる。</li> </ul>			○